

国立大学法人鳥取大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日及び場所	令和2年8月25日(火) 13:47~15:07 鳥取大学医学部アレスコ棟2号館2階 第一会議室 (米子キャンパス)	
委員	委員長 玉井 孝幸(高等専門学校教授) 委員 伊澤 祐一(銀行経営統括部次長) 委員 山根 朋洋(公認会計士・税理士)	
審議対象期間	平成31年4月1日~令和2年3月31日	
抽出案件(合計)	4件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。
工事(小計)	4件	
一般競争 (政府調達協定対象工事)	0件	
一般競争 (上記工事を除く)	3件	
工事希望型競争	0件	
通常指名競争	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり

<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>
---------------------------	-----------

別 紙

<p>議題. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議について (委員長より、事前配布した審議案件(案)について、委員より特段意見がなかった旨報告があった。また、審議案件(2)(三浦)総合研究棟改修Ⅱ(獣医学系)電気設備工事について、低入札者の割合が80%以下である旨訂正があった。)</p> <p>(1)(医病他)基幹・環境整備(電気設備更新等)工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者の理由として、この時期に手持ち工事が多かったとのことであるが、工期が令和元年10月から令和2年11月ということで、年度として業者が忙しかったのか。それとも、この時期は一般的に業者も手持ち工事が多いのか。 ・参加資格条件が厳しいといったことより、仕事が多く忙しいといった理由で応札者が1者だったのか。 ・大規模な工事であり、県内で受注できる業者は他にあったのか。 ・他県からは応札に来ないものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備費補助金は、交付決定を受けてからの発注となる。夏以降の契約・発注になる場合が多いので、時期的に手持ち工事が多くなる時期である。 ・「病院における高圧受変電設備(500KVA以上)の新設、増設、更新」の条件は厳しいものと考えていない。技術者不足が要因と認識している。 ・非常に少ないが、参加可能なA等級の業者は他にもある。 ・既存設備の更新ということもあり難しいと思われる。
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 回目の入札額は保留になっており、2 回目の入札は、応札額が 3 千万円も減額されているが理由は聞いたか。 ・ 専任技術者がいない事で、一者入札となっている。今後、施工管理技師の制度が改定される予定で、専任技術者の要件が緩和される流れとなっており、今後、山陰でも一者入札になりにくくなると感じているかが、企業内の技術者の絶対的な人数は足りているのか。 ・ 施工体制の評価点が 15 点満点となっているが、何を根拠としているのか。 ・ 品質確保の実効性、施行体制確保の確実性は金額によるのか。 ・ 入札調書の金額は、税抜価格なのか。 ・ 他の業者が入札に入っていないような、特殊な要件はあったのか。 ・ 電気設備は地下にあるのか。 <p>(2) (三浦) 総合研究棟改修 II (獣医学系) 電気設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定価格の公共工事積算基準は大学独自のものか。 ・ 材料の市場価格は変動するが、国土交通省の積算基準があるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常の入札を行っているので、理由等は確認していないが、無理な減額と考えていない。 ・ 各企業のさまざまな事情もあり、把握できてない。 ・ 文部科学省の通知を準用している。施工体制確認型の評価点は、低入札業者は加点方式で行い、そうでなければ減点方式で、特に問題がなければ満点としている。 ・ 低入札でない場合、申請書類に問題がなければ優(満点)としている。 ・ 税抜価格である。 ・ 特殊な要件はないが、病院の設備工事の実績を求めた。 ・ 1 階と 2 階である。 ・ 国土交通省が定めたものである。 ・ 資材価格は、発注時期直近の物価資料等を使用することとされている。物価資料にないものはメーカー見積もりを参考として
---	--

<ul style="list-style-type: none"> ・物価資料の調査等は大学で行っているのか。 ・物価資料は、全国平均か。 ・材料費は、どんなものが安くなったのか。 ・数量は公開しているのか。 ・数量については、差異がなかったのか。また、単価が違っていただけなのか。 ・入札事情説明書のマイナスは値引きなのか。 ・落札業者は、鳥取大学によく入っている業者なのか。実績が欲しかったのか。 <p>(3) (三浦) 総合研究棟改修Ⅱ (獣医学系) 機械設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事实績の1棟 300㎡は建物条件全てにかかっているのか。 ・随意契約した業者は、参加資格要件をすべて満たしているのか。 ・(1)の案件の電気設備工事の場合、工事面積は小さいと思われるが、その場合条件が1棟 300㎡となっている本工事には参加できないのか。 	<p>いる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市販されている2種類の物価資料を調べている。 ・項目によって全国平均、地区、県、市と掲載されている。 ・照明器具、ケーブル・電線等が安価となっている。 ・数量公開していない。 ・数量の差異はなく、単価が違っていた。 ・値引き額である。 ・良く参加し、実績のある業者である。実績が欲しかったわけではないと思われる。 <p>・全てにかかっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加資格要件をすべて満たしている。 <p>・(1)の案件は基幹整備であり、機器の性能として設備容量を条件にしている。工事の内容が異なるため、求める要件が異なっている。</p>
--	--

<ul style="list-style-type: none"> ・最初の公告は、なぜ無効となったのか。 ・再公告では、無効になった業者は応札したのか。 ・随意契約を行った業者はどのように探したのか。 ・予定価格は、一般競争時と随意契約時で相違があるのか。 ・今後も発注件数が多く、落札されない状況が続くのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・応札した 2 者供、提出された工事費内訳書の記載内容に誤りがあり、入札が無効となった。 ・再公告にも応札した。 ・近年本学発注工事の施工実績がある業者を調査し、工事期間に配置技術者が確保できる業者を探した。 ・基本的に相違はない。他の工事（建築・電気工事）との関係で、最初の入札から撤去工事等を分離し、単価も見直したため、相違がある。 ・コロナの影響で、厳しい状況が続くと思われる。
<p>(4) (医病) 第 2 駐車場地下埋設物撤去工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事場所の基礎の形は、図面のとおりなのか。 ・アスベストとあるが実際どんなものが埋まっていたのか。 ・相手業者は、どのように決まったのか。 ・数量等は双方で確認したのか。 ・予定価格はどのように積算したのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図面のとおり現地を確認した。 ・石綿管である。 ・鳥取大学医学部附属病院第 2 立体駐車場設計・建設・運営事業の設計・建設会社とした。 ・現場において確認した。 ・大学の積算基準に基づき大学で算出した。

<ul style="list-style-type: none">・アスベスト撤去費用は契約金額に含まれるか。・医大になる前の建物か。 <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none">・働き方改革の発注案件に対する適用はどのような様になっているか。・是非検討いただきたい。 <p>報告.再苦情の申立て状況について (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none">・特になし。	<ul style="list-style-type: none">・含まれている。・はい。以前の航空写真でも建物は確認できず、相当古い建物基礎だと思われる。・全面的な対応はできていないが昨年度一件、「週休2日制適用工事」を行った。
---	--